

学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」



学校だより

えのき

9月1日号



皆野町立皆野小学校 令和8年9月1日 発行

「心・技・体」の成長で想定外に立ち向かう力を 校長 吉田 浩

長いと思った夏休みも終わり、今日から2学期のスタートです。元気な子供たちの声を聴くと、我々教職員も新たなエネルギーがわいてきます。1学期の終業式には、子供たちに「節目」の話をしました。が、「節目」としての夏休みに「普段なかなかできなかったことにチャレンジ」したり、「気持ちをリフレッシュ」したりしながら、様々な思い出を作ることができたのではないのでしょうか。

そして、「健康第一」についても話しましたが、子供たちの健康管理や安全には、保護者、関係の皆様のご協力がかかせません。休業中同様、2学期も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、2学期は1年で一番長い学期であり、一番「成長」できる学期です。

「心・技・体」とよく言われますが、それぞれを成長させるためには、**自分なりの目標**を持ち生活することが大切です。そして、目標を立てる時、「**自分は**どうしたいのか」「**自分は**どうなりたいのか」を元に「**自分で決める**」ことが重要です。人に言われたことを参考にして決めることもあるかもしれませんが、最後に決めるのは自分です。そんな「**自己決定力**」を授業、行事、校外学習など様々な場面で高めていきたいと思います。



そして、「心・技・体」は皆野小の学校教育目標にも繋がります。

心…笑顔で仲の良い子 技…気づき考える子 体…のびのびたくましい子

この「心、技、体」のバランスの良い成長が、将来をよりよく生きる力に繋がります。現在は、社会や気候の変化等による「**想定外**」の**事態への対応力**も求められていきます。この夏も、熊本の地震や、各地の豪雨による**災害などの「想定外」**なこともありました。また、**情報化社会**となり、特に SNS や AI 等の発達により便利になった半面、その**悪影響による「想定外」**も起きている世の中です。そんな社会の中で、よりよく生きていくには、「**目標を自分で定め**」、「**責任**」をもって実行し、失敗しても「**あきらめない**」で工夫改善していくことが大切です。



そして、**想定外な事態にも負けずに、「ウェルビーイング」**な社会の担い手となっていく子供たちに、単に知識を学ぶだけでなく、「**自己肯定感**」や「**心身の健康**」、「**他者とのつながり**」も育てていきたいと思います。

2学期も皆野小学校の教育活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。